

少しの気配り

校長 大谷 慎也

連日の猛暑の中、七夕飾りが見られる頃となりました。今月は1学期のまとめの時期となります。先月は、まず、1・2年生の校外学習や3年生の修学旅行が実施されました。各学年とも、梅雨入り後ではありましたが、何とか天候に恵まれ、実行委員を中心とした生徒の活躍により、たくさんの成果を得ることができました。また、過日の全校集会では、6月2日(土)から7日間に渡り、熱戦が繰り広げられた「さいたま市中学校総合体育大会」をはじめ、通信陸上大会等で入賞した運動部の生徒を表彰しました。さらに、いじめ撲滅に向けた各学級や部活動でのスローガンとポスターを発表し合いました。6月は、よりよい学級・学年・学校づくりの機運を高める1か月となりました。

さて、6月13日(水)から2泊3日で行われた修学旅行での数々のエピソードからひとつ紹介します。第1日目。生徒は奈良の班別行動を終え、京都市内の宿舎に到着します。その後、ペットボトルの処理や報告手続きを終え、各部屋で健康チェックや点検、貴重品の回収等を引き続き行う手順となっています。生徒より先に宿舎に到着し、ペットボトルの処理に向けて、キャップ・包装紙・ボトルの3種類の分別用ゴミ箱を玄関前に設置して、生徒を待っていました。最初に到着した班に声を掛け、早速手順を説明して処理をしました。続々と班が到着する中、ゴミ箱のビニル袋がいっぱいになり、取り換えようとしたところ、中身が入ったまま捨てられているものが複数ありました。憤慨しながらそれを取り出して添乗員さんと分別することとなりました。そうしていると、2つの班の女子生徒が「手伝います。」と駆け寄り、一緒に作業をしてくれました。初めて訪れた土地を宿舎まで大人の手を借りずにたどり着いた疲れがあります。また、他人の口にした中身の残っているペットボトルを扱かうのは抵抗感があるはずですが、生徒は手伝ってくれました。この気配りの行動は思いやりの表現であると感じました。培われた道徳心の表出とも感じました。添乗員さんは「よい生徒たちですね。」と私に語りかけてくださいました。今でも何とも言い難い、温かいものが胸に宿っています。

さて、残すところ3週間足らずで夏季休業となります。学期末試験終了と同時にノートやワーク・作品等の提出が随時行われます。ホームルームや学年集会等で学習や生活に関する総括が行われます。平素の授業を含め、これらをもとにした学習状況についての評価・評定の結果を終業式当日に通知表にてお知らせいたします。また、夏休みが健康で安全に過ごせるように短時間ですが、安全教室を開催します。さらに、学校図書館での本の貸し出しや各種のコンクールやコンテストの応募について紹介されます。これらを踏まえて、生徒一人ひとりが1学期のまとめと充実した夏休みへの準備をしっかりと行って終業式に臨めるように、指導に当たります。中学校生活は3年間ですが、それぞれの成長の段階で、取り組んでみたり、身に付けておかなければならなかったりすることがあります。保護者の皆様には、各学年の保護者会や学年だより等を通じて職員から説明があります。どうか、お子様の努力の成果を褒めていただくとともに、期待感をもって誤りや失敗には助言や励ましをお願いいたします。